

2024年 市民自然環境調査

みづかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ツバメ）



江 田 町

目 次

- | | |
|---------|------------|
| 1 調査の目的 | 5 調査地点 |
| 2 調査の内容 | 6 参加者の声・写真 |
| 3 調査の結果 | 7 参考資料 |
| 4 調査データ | 8 事務局より |

令和6年11月
前橋市 環境部 環境政策課

1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、平成16年から、次世代を担うこども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にツバメの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、対象地域が市内各所にあること、私たちが身近な自然として感じられることを考慮し、「ツバメ（ツバメ・イワツバメ）」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集しました。（調査に参加した方を「隊員」といいます）
- ②隊員は、調査する場所を決め、期間内に調査を行いました。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出いただきました。

(2) 調査の概要

テーマ	指標生物	調査内容	調査期間
ツバメの調査	ツバメ、イワツバメ	初見日、抱卵確認日、 巣立ち	3月13日（水）～8月23日（金）

3 調査の結果

- ・調査隊員数： 13名
- ・調査地点数： 16地点
- ・確認種類（件数）：ツバメ（11件）、イワツバメ（3件）、不明及び無回答（2件）
- ・調査隊員の中で最も早い初見日の観測データ：3月19日

〈参考〉みちかな季節かんじ隊調査と前橋地方气象台で確認されたツバメの初認日

観測	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
みちかな季節 ※1	3月21日	3月26日	3月26日	3月23日	3月25日	3月14日	3月19日	3月11日	3月19日	3月19日
前橋地方气象台 ※2	4月10日	4月13日	4月17日	4月10日	4月3日	3月26日	-	-	-	-

※1 前橋市市内における最も早い初見日を掲載

※2 気象庁生物季節観測は令和2年度末で廃止のため、令和3年度以降は未記載

〈参考〉令和6年日本野鳥の会群馬のツバメ初認情報 ※3

観測	市内	市外
ツバメ	3月19日(朝倉町～天川大島町)	2月12日(高崎市)
イワツバメ	3月20日(関根町)	3月4日(伊勢崎市)

※3 日本野鳥の会群馬HPより抜粋

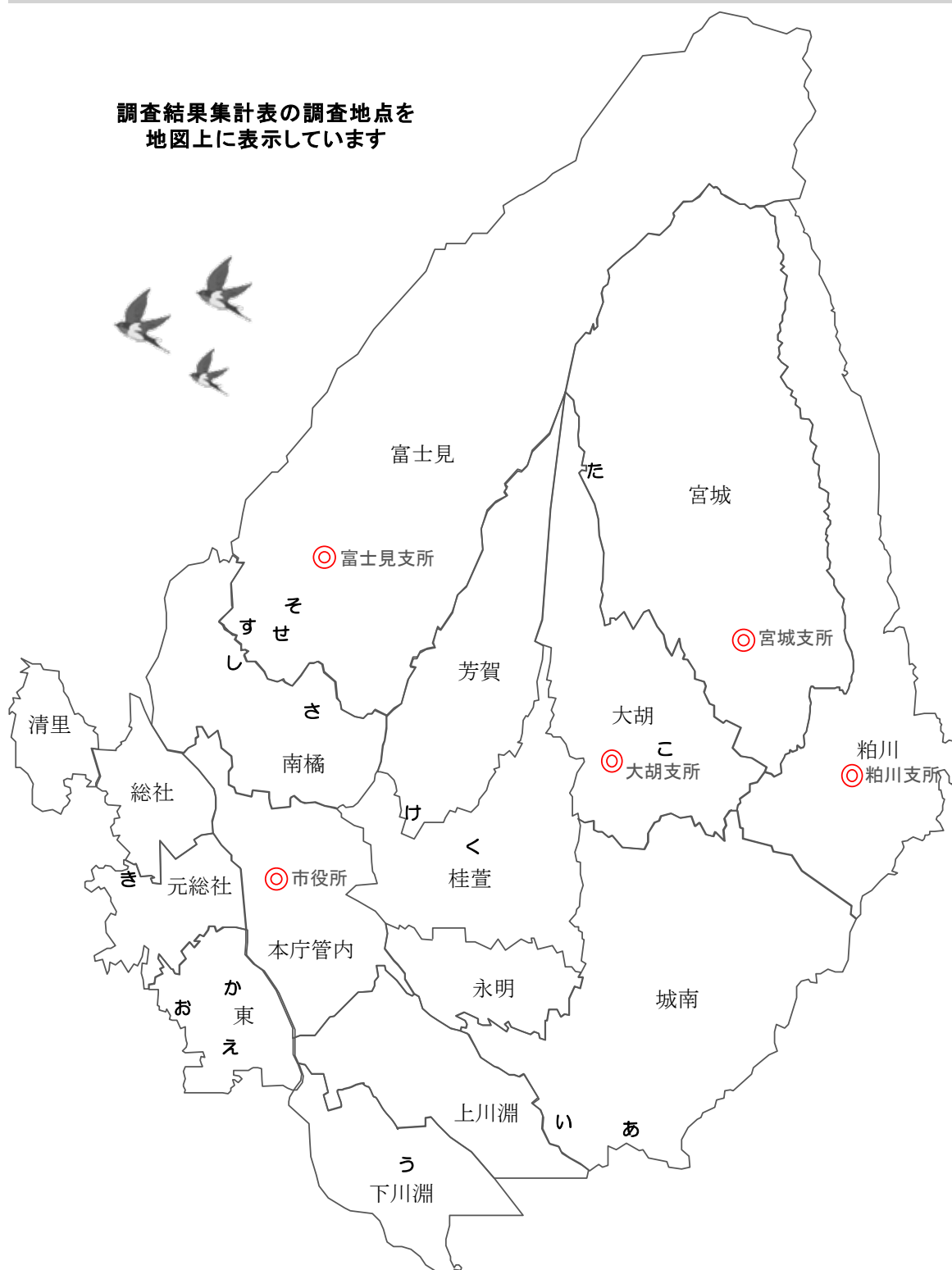
4 調査データ

調査結果集計表												
番号			調査場所				ツバメの種類	観察日				
1	3	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
No.	隊員番号	調査地点	町名	名称 (地点名)	建物の種類	(その他)	ツバメの種類	初見日	1回目 抱卵確認日	1回目 巣立ち	2回目 抱卵確認日	2回目 巣立ち
1	1	き	元総社町	K様宅	戸建て住宅	-	-	3月31日	5月3日	-	-	-
2	2	こ	大胡町	自宅	戸建て住宅	-	イワツバメ	3月28日	4月10日	5月23日	5月26日	7月9日
3	3	う	宮地町	H様宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月19日	5月20日	6月4日	6月9日	6月23日
4	4	た	柏倉町	自宅（離れ2階）	戸建て住宅	-	ツバメ	3月29日	4月13日	-	6月17日	8月5日
5	5	あ	下増田町	自宅、広瀬川、田畑などあちこち	その他	-	ツバメ	5月2日	-	-	-	-
6	6	え	上新田	郵便局	戸建て商店	-	ツバメ	5月20日	-	-	-	-
7	7	か	小相木町	自宅	集合住宅	-	-	3月23日	-	-	-	-
8	8	さ	龍蔵寺町	赤城白川が観音川と合流する少し上流の橋の下	川沿い	-	イワツバメ	3月28日	4月1日	6月10日	6月18日	6月27日
9	9	く	上泉町	三嶋屋酒店	戸建て商店	-	ツバメ	4月12日	5月6日	-	-	-
10	10	す	富士見町原之郷	原西公民館	学校・公共施設	-	ツバメ	3月31日	5月末	6月25日	-	-
11	10	せ	富士見町原之郷	T様宅作業場	その他	鉄筋の作業場	ツバメ	-	-	-	-	6月19日
12	10	し	川端町	O様宅	戸建て住宅	-	ツバメ	-	5月20日	6月30日	-	-
13	10	そ	関根町	細ヶ沢川橋	その他	上武道路の細ヶ沢川にかかる橋	イワツバメ	3月20日	-	-	-	-
14	11	い	駒形町	-	戸建て住宅	-	ツバメ	4月2日	4月21日	-	-	-
15	12	お	江田町	自宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月30日	4月18日	5月31日	6月24日	7月29日
16	13	け	端気町	田んぼに囲まれた用水路	川沿い	-	ツバメ	4月7日	-	-	-	-



5 調査地点

調査結果集計表の調査地点を
地図上に表示しています



6 参加者の声と写真（一部抜粋）

・河津桜が咲く頃になると前橋に来てくれるので、毎年待ち遠しいです。
また今年も春風に乗って来てくれて嬉しくなりました。



お 江田町

今年は2回の子育てを見守りました。
暑さが年々厳しくなっていると感じますが、無事乗り越え巣立ちの日を迎えることができ安堵しています。
1回目は5月の孵化でした。真夏日となる日もあり暑さが心配でしたが、6羽のヒナが無事巣立ちました。
2回目は7月の孵化でした。酷暑、嵐のような雨の日もありましたが4羽のヒナが無事巣立ってくれました。元気に海を渡ってまた日本に戻って来て欲しいです。
(隊員番号12)

4月に入りツバメの飛来らしきものがあり、翌日（4月2日）電線でかわいく鳴きシャッター。初見日となりました。（隊員番号11）



い 駒形町

4月21日、親鳥が巣の中にすっぽり入っていました。近くにはカラスも飛び交っています、ちょっと心配。（隊員番号11）



い 駒形町

・ここ5～6年ぐらい、ツバメが離れのベランダに巣作りをしています。
1回目は北側に卵を5個発見！2回目は中ほどに別世帯でしょうか。巣作りを行い、6個の卵を！その後、無事2世帯目は4羽が巣立ちました。1世帯目はいつの間にか巣立っていた感じでした。また、来年も我が家で巣作りを行ってもらいたいものです！！近くに川も森もあるし！！（隊員番号4）

・5/5頃、ツバメの巣が出来、卵を抱き始めました。5/25頃、理由は分かりませんがこわされてしまいました。その後、ツバメは戻ってきませんでした。（隊員番号9）

・今年のツバメとの飛来確認がなかなか目にすることができずあきらめてしまいそうでした。とすると自宅の上空を数羽のツバメらしき飛来物確認できほっとした。しかし、毎年抱卵場所がみつけれず苦勞の調査。二箇月くらい町内のあちこちでツバメの姿は見られる。八月中旬ともなればすっかりツバメの姿は目に留まらずしまい。目的果たして古巣へ帰れることを祈る。（隊員番号5）



富士見町

5月30日朝 自宅の物干し竿にやってきた巣立ち間もない子ツバメたち

近所で巣立ったらしい子ツバメ達が、1時間以上我が家の物干し竿に止まり、親から餌をもらったりしていました。(隊員番号 10)



富士見町



こ 大胡町

・5/20 上新田郵便局玄関の上に巣を発見。その後不明。ツバメの姿も見えていない。自宅近くでは数年ツバメの姿は見ず。(隊員番号 6)

・7月末頃には急に飛んでいる数が増えたように見えました。ヒナが大きくなって親つばめと一緒に飛べるようになったのかな？(隊員番号 7)

今年も例年の如く2回の巣作り10羽の巣立ちを楽しみました。2回目の子ツバメは4羽かと思っていたのですが巣立ち直前5羽の姿を見せてくれました。2つ巣があるので大きくなってからは親だか子だか分からないのですが2つの巣に分かれてゆっくり休んでいました。今は空き家になった巣とフンの落ちない下が一寸寂しいです。(隊員番号 2)

・K様の話によると4月中旬より昨年巣作ったものを修復始めた(昨年、鳥にやられた部分)。5月18日朝、卵が巣より落ちていた。鳥の仕業でありました。と話されていました。(隊員番号 1)





こ 大胡町

2回目の子ツバメ
飛び立ち練習中に餌やり（トンボ）
（隊員番号2）

2つの巣に分かれて休んでいるツバメさん
親？子？（隊員番号2）



こ 大胡町

・今回も宮地町（のHさん宅）で営巣が確認できましたので報告いたします。相変わらず写真を撮ろうと巣に近づくと親鳥が威嚇してきて写真は撮れませんでした。（隊員番号3）

・今年もまた去年と同じ橋の裏の巣二つに抱卵を始めました。よほど環境が良かったのか、近くに新しい巣が二つもでき、四つの巣を観察していました。私が観察する橋のすぐ上流の橋にも巣がありました。ある日その巣を近くの保育園児たちと先生が眺めていました。堤防の石垣におひな様のように腰かけて。（隊員番号8）



・5月中旬頃から公民館の玄関ポーチ周辺を飛びながら点検している様子が見られました。5月24日には巣ができあがっていたので、抱卵開始はその後と思われます。巣立ちの瞬間は確認していませんが、6月25日頃には巣立ったと思われます。地域の公民館でのツバメの繁殖は初めてのことです。

・Oさんの話によると、今年、子育てを行っている親ツバメ、昨年の個体と異なっているような気がするとのこと。玄関を通る私に対しても大袈裟な警戒鳴き、昨年はそのような事は無かった。あまり鳴くとカラスなどに「子ツバメがここに居ますよ」と知らせることになりそうで心配だった。

・1回目（5月）抱卵は確認していたが、昨年同様カラスに襲われ、巣立ちできなかったとのこと。2回目 別の場所で巣作り、6月19日、5羽無事巣立ったようだ。

・「道の駅まえばし赤城」のそばの上武道路にかかる細ヶ沢川橋の橋桁に営巣している。昨年同様多数飛来し、4月中旬頃から5月にかけて昨年の巣を手直ししていた。6月中旬には巣立ち間もないと思われるヒナが見られた。確認はしていないが、6月末までには巣立ったのではないかなと思う。（隊員番号10）

7 参考資料

ツバメの特徴

ツバメは、春の訪れとともに日本にやってくる夏鳥です。
 巣作りも子育ても雌雄が協力して行います。
 夏の終わりのころ南の国への渡去準備のため群れになります。

ツバメが好む住環境

ツバメのえさとなる虫がいる田んぼや川等
 水辺が近くにある場所

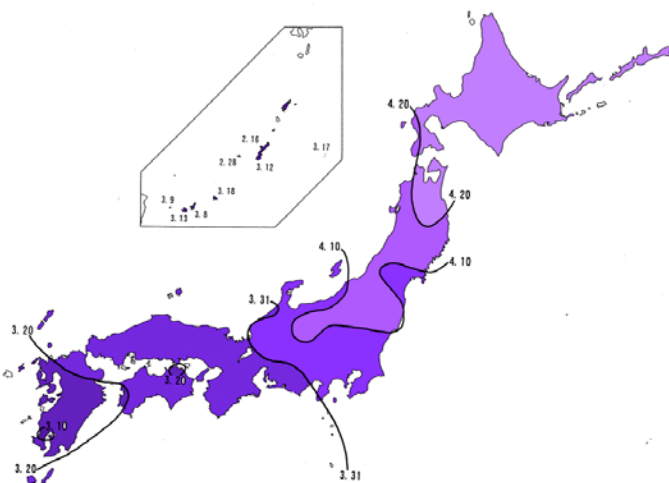
ツバメ・イワツバメの違い

	ツバメ	イワツバメ
見 分 け 方	 額とのはきは赤褐色 17 cm  尾は細長い	 14~15 cm  腰は白色 尾は短い
巣作り場所	商店や住宅の軒下に巣を作る	山や海岸の崖、ビルや橋などに集団で巣を作る
分 布	北海道から九州、種子島 (北海道では道南にほぼ限られる)	北海道から九州 (西日本では局地的で少ない)

イラスト：担当者

ツバメの初見日の等期日線図

(1981~2010年 平年値)



ツバメの初見は、3月上旬から九州
 地方南部で始まります。3月20日に九
 州地方、四国地方に達し、3月31日に
 中国地方、近畿地方、北陸地方、中部
 地方を結ぶ地域、4月10日に東海地
 方、関東甲信地方、東北地方南部を結
 ぶ地域、その後、東北地方北部を北上
 し4月下旬に北海道地方に達します。

〈気象庁HP「生物季節観測」引用〉

8 事務局より

今年は、13名の隊員の皆様から16地点のご報告をいただきました。隊員の皆様には初見日から巣立ちまで、長期にわたりご協力をいただき誠にありがとうございました。

近年、ツバメを見かける機会が減ったと言われていますが、隊員の方々の報告から、前橋市で育つ元気なツバメたちの様子を伺えて喜ばしい気持ちになりました。

前橋市を飛び立ったツバメの無事を祈り、来年もまたツバメたちが帰って来られるように、ツバメと共存できる環境づくりをしていきましょう。

今後も「みちかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しむ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成 12 年 3 月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成 16 年 7 月 29 日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の 5 つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じて PR をしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和 58 年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として 4 つ目の宣言文となります。